

平治宿水場径改修（迂回路新設）作業

- ◇ 実施日 10月10日（日） 曇り後雨
- ◇ 参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、橋本梓、豊嶋寛、濱野兼吉、大江加予子、畑林清子、高階鈴子・美根子、岩本信行、中前偉、谷口昇、梶野照雄 13名

平治宿の水場に降りる道は近年では

平成24年7月28日、上平前村長の山で11本の立木を伐採

平成24年10月6〜7日、伐採した木を茂原先生や関係者を含め

た14名で平治宿へ運び加工

平成25年6月1〜2日、加工した木を使い茂原先生や関係者を含

めた13名で水場径を仕上げる

平成25年8月7日、6名で水場水槽を補強

と、改修を続けてきたが、最後の作業から8年が経過している。

下り始めの段差も杭が腐り、痛みの激しい部分も増え、脚立下の沢部分も不安定な岩が多くなって、登り下りに慎重さが必要になってきた。

水場径改修の第一段として、荒れた沢を通過しない迂回路を新設することになり、昨年ルートを設定、今年の8月1日に15名の参加を頂き、おおむね7割の工事を終えた。

本日は残りの3割を完工すべく13名が平治宿に向かった。

朝、新宮を出るとき、下北山村に向かう途中も小雨が降ったり、虹

が出たり、と不安定な空模様だった。



持経宿に到着



平治宿に向かう



お堂で安全祈願

午前8時半、白谷林道ゲート前に全員が揃う。沖崎、中前、豊嶋の3車に分乗して持経宿に向かう。白谷林道はスムーズに通行でき、落石除去で車を降りる事も無く50分で持経宿に着いた。予定していた時間通りで一安心だ。

持経宿から半割の丸太2本と石ノミやハンマー、バケツなどを持って平治宿に向かった。

11時少し前に平治宿に到着、工具や杭を持って改修現場に降りて作業を始める。階段（段差）の設置、栈木の設置、道に小石を敷く、の3組に分かれて進めた。前回の経験もあり、要領よく作業は進んだが、階段の設置は斜面が急な上に、地中の岩で杭が入らないところもあり、一番時間がかかった。

12時半過ぎまで作業を続け、予定区間の工事を完了した。
小屋に戻って少し遅い昼食を摂る。作業中は何とか降られずに済んだが、昼食の途中からポツポツと降り出して、食事が終わるころには本降りになった。雨具を身に着けて持経宿に戻った。



平治宿に到着

上部の階段を造る

階段完成

今日は岩本、谷口の両君が参加してくれ、大きな戦力となった。次回の参加をぜひお願いしたい。

新設の迂回路は開通したが、小屋から迂回路までの段差（階段）にも痛みの激しい部分が多い。今後平治宿に行った際に、少しづつでも改修したいし、迂回路先の沢を横切る部分も何か工夫が必要だ。
8月1日と今日、2回の出勤で迂回路は完成したが、これも村吉さんあっての事。半割の丸太や大量の杭を単独で荷揚げしてください。その都度林道の情報を伝えて頂いた。厚く御礼申し上げます。



下部の階段



完成した迂回路



本日の参加者

帰路、沖崎車と児嶋トラックはR425を21世紀の森経由で帰った。21世紀の森迄は22分、R168の出合迄が23分、合計45分で、日足迄なら1時間。新宮の自宅までは1時間25分だった。通行量にもよるが浦向経由のR169、R168より少し早いように思う。
(記：沖崎)

行動タイム

白谷林道ゲート 08:35→09:25 持経宿→10:52 平治宿 13:45→14:10 持経宿→15:50 白谷林道ゲート